

平成25年度 統計功績者表彰受賞者紹介

(敬称略:順不同)

【総務大臣表彰】

- 労働力調査
武富 淳子 江北町
- 小売物価統計調査
(1名)
- 家計調査
吉村 早苗 佐賀市
- 平成24年就業構造基本調査
林 秋雄 鳥栖市
- 各種統計調査員
田中 由紀子 佐賀市



久原 康代 白石町
山口 由美子 武雄市

【厚生労働大臣表彰】

- 毎月勤労統計調査調査員
永野間 のり子 佐賀市
- 毎月勤労統計調査事業所
株式会社 昭和メンテナンス 佐賀市
野村證券株式会社 佐賀支店 佐賀市
株式会社 福岡商店 佐賀市

レンゴー 株式会社 鳥栖工場 鳥栖市
社会福祉法人 梅生会 鹿島市
佐賀県伊万里土木事務所 伊万里市

【経済産業大臣表彰】

- 工業統計等構造統計調査員
梅村 千津子 伊万里市
淵上 京子 鹿島市



【経済産業省 感謝状】

- 工業統計等構造統計調査員
神田 紀美子 唐津市
最所 傳 鳥栖市
諸岡 浩子 武雄市
- 動態統計等構造統計調査員
棧 貞由起 嬉野市

吉村 さほ子 神崎市
荒木 尉司 神崎市
吉永 みゆき 有田町

【佐賀県統計協会総裁表彰】

山中 輝見 佐賀市
日野 美代子 佐賀市
植松 淑子 佐賀市
西村 誠 佐賀市
御厨 圭子 佐賀市
辻 佑 佐賀市
山下 洋子 唐津市
村山 了子 唐津市
古藤 真知子 唐津市
深川 貴代子 多久市
鬼塚 尚代 多久市
川田 耕一 伊万里市
柳本 光圀 伊万里市

佐々木 ちえみ 武雄市
松本 順一 鹿島市
小野原 静子 鹿島市
中島 佐智子 嬉野市
江下 和枝 嬉野市
中島 利尊 神崎市
宮島 岩夫 神崎市
村山 義雄 基山町
蒲原 瑞子 基山町
岩下 輝利 玄海町
吉浦 福一 有田町

(他2名)

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。
今後ますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

平成25年度 統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品紹介



佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に260点の応募があり、特選（知事賞）6点、入選21点、佳作50点、また特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された鳥栖市立基里小学校、唐津市立厳木中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品19点を全国コンクールに出品したところ、2点が佳作に入賞しました。

平成25年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況

部 門	応募作品数	応募者数
第1部（小学校1～2年生）	21	21
第2部（小学校3～4年生）	43	49
第3部（小学校5～6年生）	84	122
第4部（中学生）	78	90
第5部（高校生～一般）	2	2
パソコン統計グラフの部	32	43
合 計	260	327

※規格外作品含む

★統計グラフコンクールについて、詳しくはこちら★

さが統計情報館

検索



【主催・後援】

主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、STSサガテレビ

【審査員】

牛丸 和人（唐津市立名護屋小学校 校長） 他11名

総評

「統計」とは「ある集団の傾向や性質を、数量的に明らかにすること」だと言われます。ですから、いろんな集団の間で数や割合を比較したり、同じ集団での時間的な変化などを調べてグラフにしたものが、統計グラフなのですね。統計グラフを作成する時には、必ず「〇〇について知りたい・知らせたい」という目的がなければいけません。その目的に合わせて調査し、得られた結果を見やすく・分かりやすく表現するのです。グラフは、結果を視覚的に表す便利な道具ですから、さまざまなグラフをうまく使うことによって、自分の考えをよりの確に伝えることができるのです。今回もさまざまな工夫が見られました。

ただし、統計グラフの制作では、表現のきまりを守らなければいけません。特に著作権には気をつけて欲しいです。特定のキャラクターや商品名が入っていないか、データの出所が明らかかなのか等を、必ず何回もチェックしてから応募して欲しいと願っています。

【表彰式】

平成25年11月19日（火曜日）

佐賀県庁 正庁（本館4階）

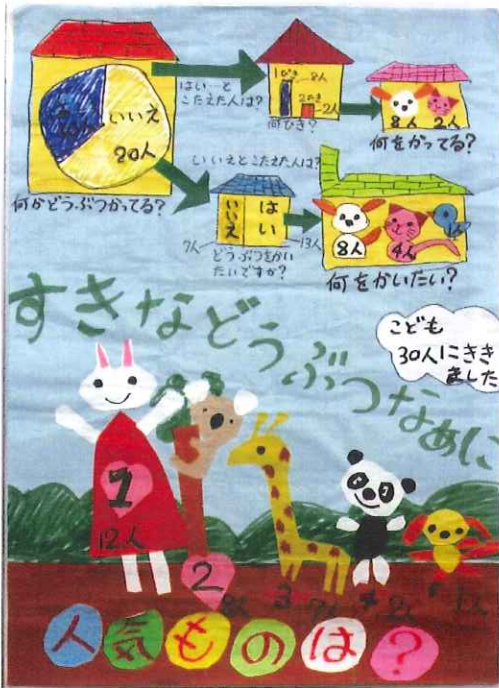


【入賞作品展示会】

平成25年11月19日（火曜日）～25日（月曜日） 佐賀県庁 県民ホール（新行政棟1階）

★第1部(小学校1~2年生の児童)

【特選(知事賞)】



「すきなどうぶつなあに」
佐賀市立新栄小学校 2年
河原田 真衣

講評

自分のクラスの友達を対象に調査した結果を楽しいグラフに仕上げています。まずはそれぞれの家で飼っているペットに関するグラフでは、家の形のデザインの中に円グラフや棒グラフを配して、観る人の目を引きつける工夫がなされています。また、好きな動物に関するアンケートの結果は、それぞれの動物の大きさによって答えた人数が一目で分かるようになっています。キリンよりウサギのほうが大きいのはそのためなのですね。

受賞者の声

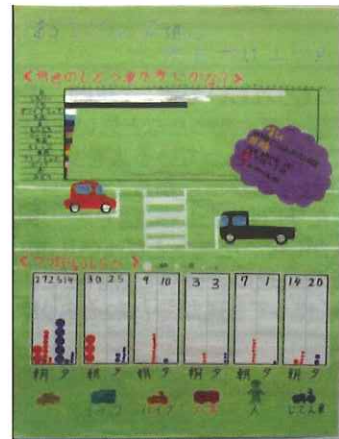
特選ときいてとてもびっくりしました。夏休みにがんばってよかったです。
わたしはどうぶつが大好きです。だからみんなのどうぶつにたいすをきいてみたいと思いました。
ねこよりも犬のほうが人気でした。わたしもうさぎが好きでみんなもうさぎが好きだったのでうさぎが人気者だということに気づきました。
くふうしたところは、色をはっきり見せるためにシールのおりがみをつかいました。

【入選】

「こうこくしらべ」
佐賀市立川上小学校
松澤校
未2年
采年



「おうだんほ道は気をつけよう！」
佐賀市立兵庫小学校
伊藤校
そ2年
ら年



「金立特別支援学校」
金立特別支援学校
米澤校
七2年
海年



「みんなでやめよう」
鳥栖市立基里小学校
赤松校
美2年
咲年



★第2部(小学校3~4年生の児童)

【特選(知事賞)】【佐賀新聞社賞】

【入選】【サガテレビ賞】

「ライトつけてる!? 自転車のむとつかについて」
佐賀市立日新小学校 森 球道 3年



講評

夜、無灯火の自転車を見かけるたび「あぶないなあー」と思っていたのではないのでしょうか? 場所や台数、世代別などの現地調査とアンケートのデータ集めから、その思いが強く伝わってきます。

作品全体の色合いと、星や月などのイラストとのバランスがよく、グラフを自転車の車輪とライトで表したアイデアも目を引きます。佐賀の街は自転車が多いですね。作品は、「一人ひとりに考えてほしい」というメッセージにあふれています。(佐賀新聞社審査員)

受賞者の声

とてもうれしいです。1年間、デザインを考えたり交差点でがんばって調べてよかったなと思いました。

夕方、自転車でじこにあってる人を見て、かなしかったみんなにじこにあってほしくなかったからこのテーマにしました。でんきをつけていなかったり、けいたい電話でメールしたり、けっこうあぶない運転をする人がいるんだなあとびっくりしました。

夜の暗い所での出来事を調べたけれど、自転車の楽しさも出たかったので明るく作っても夜がつつたわるようにがんばりました。

「こんな家に住みたいな」

佐賀市立西川副小学校 木田 秋穂 4年



講評

自分だけの部屋が欲しいと思う年頃。「マイホーム」への憧れが感じられる作品です。作品の素晴らしい所は、ひと目でお家に関わる統計グラフだと理解できることです。屋根や窓などをうまく工夫してグラフが配置されていました。またアンケートの数値も項目に合わせたマークで表現され丁寧さも感じられました。タイトルの通り、夢を膨らませながら見ていると自然と楽しくなる作品です。(サガテレビ審査員)

受賞者の声

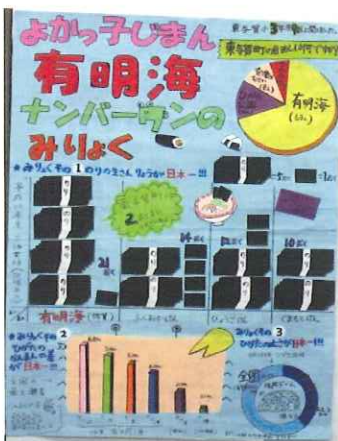
今年も賞に選ばれてうれしかったです。いつも通る道に建つ新しい家の多くが太陽光発電のパネルをつけていました。新しく家を建てる人がどのようなことを考えているのかを知りたくて今年のテーマを考えました。

調べてみてわかったことは、節電と地しんのことを気にかけてながら家づくりをしていることに気づきました。

知らない人にアンケートをお願いすることはとてもはずかしかったけどいろいろなことがわかってとてもよかったです。

【入選】

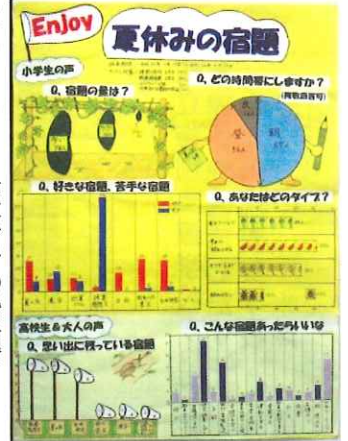
「よかつ子じまん みりょく」
佐賀市立東与賀小学校 木原菜月 徳富一夏 平方咲帆 堀内乃杏 3年



「がんばれソーラー パネルジユースが何本のめるかな?」
神埼市立千代田東部小学校 武富 みゆ 3年

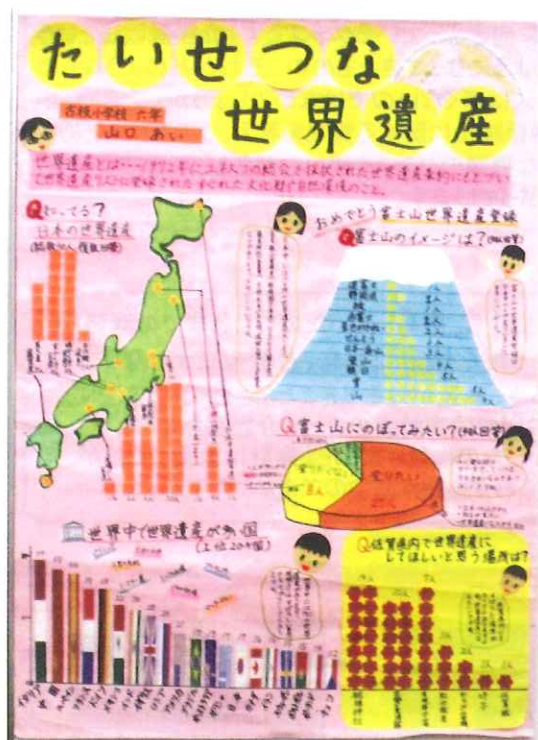


「Enjoy 夏休みの宿題」
佐賀市立神野小学校 山崎 大雅 4年



★第3部(小学校5～6年生の児童)

【特選(知事賞)】



「たいせつな世界遺産」
鹿島市立古枝小学校 6年
山口 あい

講評

日本を代表する富士山が世界遺産になったという、タイムリーな情報に刺激を受けて作成されたグラフです。多くの方が興味・関心をもっているテーマを選ぶことも大切なことです。薄いピンクをバックに、日本地図や富士山をデザインしたグラフや円グラフがとても美しく表現されています。中でも世界各国の世界遺産の数を比較した棒グラフは、それぞれの国の国旗になっていますね。こういう細かい表現も見る人たちの感動を呼びます。

受賞者の声

去年から統計グラフをしていて、2回目で県特選に選ばれてとてもうれしかったです。

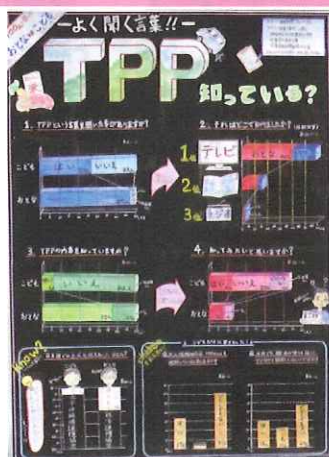
今年のテーマを選んだ理由は、今年日本の富士山と三保の松原が世界遺産になったので、世界にはどんな世界遺産があるのかなと気になったからです。

クラスみんなや、大人の人に聞いてみて、日本にはすばらしい世界遺産がたくさんあるけど、佐賀県にもすばらしい所がたくさんあったことがわかりました。

工夫したところは、富士山のイメージをグラフにする時に、富士山のマークを使ったり、国別の世界遺産の数を棒グラフにする時に、その国の国旗の長さで表した所です。

【入選】

「よく聞く言葉！」
TPP知っている？
神埼市立千代田東部小学校
武富 6年
竜久



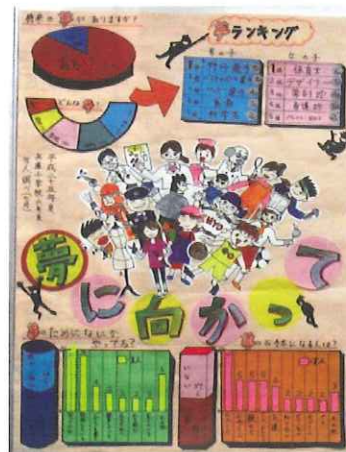
「朝ごはんについて」
しっかり食べよう朝ごはん
佐賀市立開成小学校
近藤 5年
佳歩



「スリランカと日本の国際交流」
英語でコミュニケーション
佐賀市立日新小学校
江越 6年
遥南



「夢にむかって」
ランニング
佐賀市立兵庫小学校
帯屋 6年
花那



★第4部(中学校の生徒)

[特選(知事賞)] [全国コンクール 佳作]

「高齢者の介護保険法
利用者が
増えている」

佐賀清和
中学校
江越
3年
実咲



講評

中学生の作品ですが、日本が抱えている大きな課題である「高齢化」にまじめに向き合っているグラフです。介護保険法という言葉をよく耳にするようになってきたものの、それがどのようなものなのかを説明できる人は多くないのではないのでしょうか。そこで、中学生の視点から介護保険法に関する質問を考え、グラフにまとめてくれました。いろいろな種類のグラフを用いながらも、丁寧にすっきりしたデザインに仕上がっています。

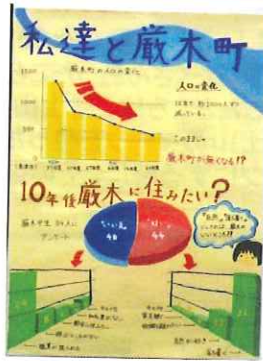
受賞者の声

小学6年生から、応募していたのでこれまでの頑張りが実って本当に嬉しかったです。私は将来、社会福祉士になります。高齢者が増えている今、私達を知るべきことだと思ったからです。中学生や高校生の間では高齢者のことや介護保険について、知らない人の方が多かったのに驚きました。集計は大変でしたが、その分情報が集まり、これから役に立つのでよかったです。

[入選]



「私のきもち、皆のきもち」
伊万里市立伊万里中学校
3年 武藤 園実
1年 川本 実音



「私達と巖木町」
唐津市立巖木中学校
1年 秀島 彩永



「今の自分と将来の自分」
伊万里市立伊万里中学校
3年 松尾 綾
2年 池田 光希

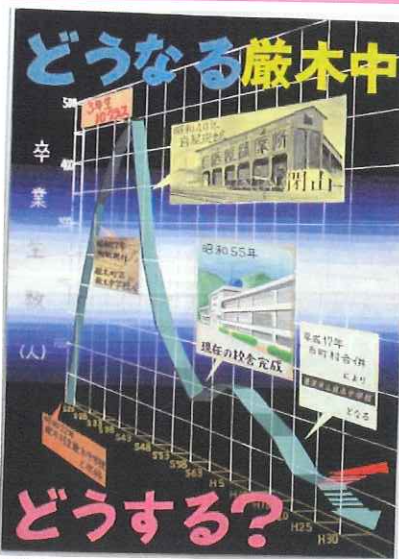


「部活時のケガについて
~スポーツ医学とは~」
佐賀清和中学校
1年 江越 由華

★第5部(高等学校以上の生徒、学生及び一般)

[特選(知事賞)]

[入選]



「どうなる巖木中 どうする?」
一般
御厨 昭彦

講評

佐賀県内でも少子化の影響がさまざまな場面で見られるようになってきました。その一つが学校の統廃合です。規模が小さくなりすぎた学校同士を合併し、新たな学校としてスタートするという考え方です。どんな政策にも、当然メリットとデメリットが発生します。このグラフはかつて巖木町が炭鉱で繁栄した時代から近未来までの卒業生の推移を、ダイナミックな折れ線グラフに表現し、問題提起をしています。複数の統計が示されていれば、更にインパクトのある作品に仕上がったでしょう。

受賞者の声

巖木中は全員で統計グラフコンクールに取り組んできました。生徒たちが参考にしてくれたらと思って心を込めて描きました。上手に塗れなかったところも多く、結果には正直驚きました。かつてマンモス校だった巖木中も産業の変化などで今年生徒数92名の小規模校になってしまいました。このままでは「どうなる」そして巖木の未来を「どうする」か。子どもたちに一緒に考えてほしくてこのテーマを選びました。急激に進む生徒数の減少を強調するために全画面を使って縦長のグラフを1つだけ描きました。また、人口の増減の背景となった出来事などを吹き出し風に付けました。



「私達の留学事情」
聖和女子学院高等学校 1年
武藤 早智子

★パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)

【特選(知事賞)】【全国コンクール 佳作】



「佐賀って安心な県と言えるの？」
 多久市立中央小学校 5年
 福永 嘉恩

講評

小学校5年生の作品です。ICT機器(パソコンなど)は、小学生の手では難しいと思われるような表現をも、あっという間にやってくれます。例えばこのグラフのように背景を写真にすることも可能なのですね。それぞれのグラフのグラデーションもとてもきれいです。手描き作品、パソコン作品には、それぞれの「よさ」があるのですが、いずれにしてもテーマやデザインは人間が考えなければなりません。そのセンスを磨くことがとても大事なことです。

受賞者の声

とてもうれしいです。作ったかがありました。ありがとうございます。
 お父さんの生まれた大阪は、テレビや父、母から事故や事件が多いと聞いていて佐賀は安全な県だと思っていました。本当にそうなのかと疑問に思い調べてみようと思いました。
 調べてみて、佐賀県は、安全な県だと思っていたけど事件や事故が大阪と変わらず起きていることが分かりました。苦労したところは、警察にアンケートを書いてもらうのに、決まりなどがあって大変でした。そして、見る人が見やすいように色を選ぶのが大変でした。

【入選】

「学生の携帯電話の利用について」

佐賀県立多久高等学校
 小林 三也花 3年



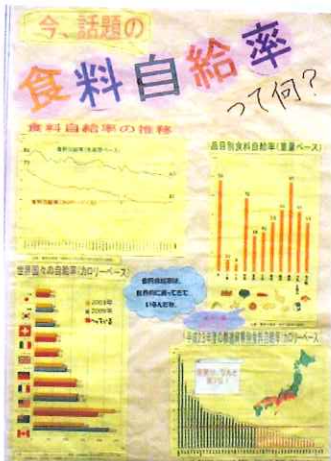
「職業について」

佐賀県立多久高等学校
 高祖 由香 3年



「今、話題の食料自給率って何？」

佐賀市立鍋島小学校
 小宮 衣織 4年



「ぼくの夢 私の夢」

佐賀市立若楠小学校
 篠崎 あかり 6年

